

## 第 32 回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

令和 6 年 12 月 19 日(木)に、第 32 回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部霜仁会館 3 階多目的室にて開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、院内外の医師、看護師、薬剤師、MSW、訪問看護師など参加され合計 49 名の参加者となりました。

当院の緩和ケアセンター乗安看護師長から開会の挨拶があり、各演者より以下の事例提示があった後、質疑応答を行いました。

### 事例：「自宅退院希望のあった膵臓がん終末期患者への関わり ～入院中の外出支援がその後の在宅療養につながった事例～」

西岐波セントヒル訪問看護ステーション 看護師 上田 美絵子先生  
山口大学医学部附属病院 第 2 外科 医師 濱崎 太郎先生  
山口大学医学部附属病院 B 棟 5 階 副看護師長 村上 梢先生  
(看護師 平本 咲くら先生)

参加者の方から様々なご意見が寄せられ、有意義な検討会となりました。

(一部抜粋 )

- ・「地域での連携の重要性を感じた。」
- ・「各立場からのケアや方針について意見を聞いて、今後の役に立つと思った。」
- ・「転院後や、在宅での様子などは知ることがあまりないため、訪問看護師さん等からの話を聞いて良かった。」

この度は、多くの方々に検討会にご参加して頂き、誠にありがとうございました。

本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 《検討会風景》

